

# 第2回フランス語研修 2014



企画：名古屋大学教養教育院フランス語科

藤村逸子 (国際開発研究科)

BAUMERT, Nicolas (教養教育院)

## 日程と実施場所

- 2015年3月1日-14日 (13泊14日)  
フランクフルト空港集合-ストラスブール解散
- ストラスブール (フランス)

## 名古屋大学担当者

### 担当教員

- 文化事情（フランス）1：新井美佐子（国際言語文化研究科）
- 文化事情（フランス）2：藤村逸子（国際開発研究科）

### 実施

- 名古屋大学国際部国際企画課

## 協力機関

ストラスブール大学：

受け入れ機関 Maison Universitaire France-Japon（日仏大学会館）  
 受け入れ責任者 Lett教授（日仏大学会館館長）  
 学生交流 ストラスブール大学日本科：村松研二郎先生

語学学校 IIEF（Institut International d'Etudes Françaises）

宿泊施設 AMITEL（民間）

特に、Lett先生にはひとかたならぬお世話になった。土曜の早朝、帰国する学生の見送りにも来てくださった。



## 参加者

### ■ 応募資格

現在教養教育院でフランス語を履修中、または過去に教養教育院でフランス語を履修した名古屋大学の学生。

### ■ 参加者：19名

1年生：15名（文6、工2、教育2、経済2、農2、理1）

2年生：4名（文2、医1、工1）

## 参加費

### ■ 96,798円 (720ユーロ)

- 授業料（約30時間）
- 文化体験、見学費用
- 宿泊費（シャワー、WC付き）13泊14日
- 朝夕食
- 空港（フランクフルト）からストラスブールまでの往路バス運賃
- ストラスブール大学学生との交流
- 週末家庭訪問

### ■ 航空券は別（各自手配）

# プログラム

フランス人学生との交流！！

曜日	日	時間	活動
2015/3/1 フランクフルト空港集合(17:00)⇒チャーターバス⇒ストラスブール宿舎到着20:30ごろ			
第1週:3月2日～3月8日			
月	2015/3/2	午前 14:00-17:00	ストラスブール市内散策、遊覧船(Bateau Mouche)
		午後 14:00-17:00	フランス語講習
火	2015/3/3	9:30-12:30	フランス語講習
		14:00-16:00	ストラスブール大学日本語科学生との交流
水	2015/3/4	10:00-12:00	フランス語講習
		14:00-16:00	フランス語講習
木	2015/3/5	10:00-12:00	フランス語講習
		14:00-16:00	フランス語講習 → 夜 ウェルカムパーティ
金	2015/3/6	10:00-12:00	フランス語講習
		14:00-16:00	フランス語講習
土	2015/3/7	終日	フリータイム
日	2015/3/8	12:00-15:00	2, 3人のグループで、アルザスの家庭訪問(昼食+α)
第2週:3月9日～3月13日			
月	2015/3/9	9:30-12:30	フランス語講習
		午後 14:00-17:00	古いワイン蔵見学
火	2015/3/10	午前 9:30-12:30	欧州議会見学
		午後 14:00-17:00	フランス語講習
水	2015/3/11	終日	フリータイム → コルマル(Colmar)へ遠足
木	2015/3/12	午前 9:30-12:30	フランス語講習
		午後 14:00-17:00	アルザス博物館
金	2015/3/13	9:30-12:30	フランス語講習
		午後 14:00-17:00	フリータイム → 夜:アルザス料理レストランお別れディナー
土	2015/3/14	解散 (宿舎出発 7:00 ストラスブール(8:15発)⇒ルフトハンザバス⇒フランクフルト空港(11:00着))	

フリータイム

家庭訪問！！

コルマル遠足

# クラス、授業内容

- ヨーロッパ言語共通参照枠に基づいた授業内容。
- A1 -A2レベル


ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。

## 満足度調査（無記名式5段階評価平均）

項目	平均（5点満点）
ストラスブール大スタッフ	4.47
語学学校の授業	4.37
宿舎（部屋）	3.53
宿舎（食事）	4.26
日本科学生との交流（プレゼンテーション）	4.53
日本でのプレゼンテーションの準備	2.95
日仏大会館での交流	3.79
アルザス家庭訪問	4.78
コルマルエクスカージョン	4.33
自由行動の日	4.16
参加費用	3.84
航空券を自分で買うこと	3.95
全体的満足度	4.79
後輩に勧めるか	4.74

## 満足度

- 「全体的な満足度」は極めて高い評価。バランスのよい研修であったことを示す。100点満点換算で95点
- アクティビティの中では、特に以下の二つが高評価。今後も継続することが望まれる。
  - ボランティア家庭の好意による「家庭訪問」：（日曜午後、昼食と近郊散策）（日仏大会館が家庭を見つけてくださった。前年も高評価）
  - 日本科学生との交流：日本語の授業の枠組みの中で、パワーポイントをおよによる双方向のプレゼンテーションを行った。
    - ストラスブール大学学生は、日本語で、アルザス地方を紹介
    - 名古屋大学生は、フランス語で、日本や名古屋を紹介
    - ストラスブール大学日本学科の協力による。2014年度開始。
    - 2日目に行われ学生同士がすぐに仲良くなったため、研修の全期間を通して交流が続いた。
- 他に、欧州議会の見学は好評だった。



## 来年以降に向けて

- 参加者の満足度は高く、今年の研修は大成功であった。
- 帰国後に授業の課題として参加者が提出したレポートからも、研修の成果がはっきりとうかがえる。
  - 参加者の成果
- ストラスブール大学の関係者も大変満足しており、来年以降もこの研修を継続することを約束した。